

## 1年間のまとめ

副校長 仲西 久美子

少しずつ春に向けて暖かさを感じるようになり、梅の花もほころび始めました。早いもので今年度も残すところあと1か月となりました。

2月9日(金)に第3回学校運営連絡協議会を開催しました。今回は、「中高作業学習充実プロジェクト」及び「SODプロジェクト」について報告いたしました。「中高作業学習充実プロジェクト」では、中学部・高等部の接続を意識した作業班に改編し、それぞれの学部で付きたい力を明確にして授業改善に取り組みました。また、高等部の作業学習では帝京大学に御協力いただき、大学内での作業製品の出張販売や、特別支援教育理解推進ブースの出店などを行いました。生徒達は校外での貴重な体験から多くの学びを得ることができました。各委員からは、「実際に中高連携を進めていくのは難しい部分もあると思うが、質のよい実践をしている。」「学校の取組に感銘を受けた。今後も地域とのつながりを深めてほしい。」といった御意見をいただきました。また、学校評価アンケート結果を踏まえて、委員の皆様から御意見もいただきました。学校評価アンケートの結果につきましては、3月の全校保護者会で報告いたします。

今年度は、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、レインボーカフェでの営業や学校間交流など、様々な活動を通して、地域とつながることの大切さを感じることができました。

次年度も児童・生徒が地域の人々とつながり、豊かに触れ合う取組を充実させ社会に開かれた教育課程を目指してまいります。

3月はいよいよ卒業・修了の時期となります。健康に留意し、残り少ない学校生活が充実したものとなるよう支援してまいります。御家庭・福祉園の皆様には今後とも御協力のほど、よろしくお願いいたします。

### 【高等部生徒会選挙】

毎年、2月上旬に来年度の生徒会役員の選挙が行われます。1年生からは副会長と書記が1名ずつ、2年生からは会長、副会長、書記が各1名ずつの枠となっています。今年度は、2年生書記候補と2年生会長候補は信任投票となり、その他の枠では2～3人の立候補者が出馬して選挙が行われました。一週間前から選挙活動ができるようになると、他学年の教室も訪問し、思い思いのメッセージを伝えていました。「僕が〇〇さんを推薦した理由は、いつもしっかりと勉強に取り組んでいるからです。」と推薦人が発言すると、「僕は、この七生特別支援学校を笑顔のあふれる学校にしたいと考えています。そのためには笑顔で挨拶運動をがんばります。清き一票をお願いします。」と候補者が宣言します。選挙活動が始まったばかりの時期は、緊張感でいっぱいの様子でしたが、回を重ねることで少しずつ自信がついたように見受けられました。経験を積みながらいろいろな人に言葉を掛けられることで、生徒会役員になるという自覚を身に付けているのかもしれない。投票が終わり、結果は翌日のお昼の放送で発表されました。当選した生徒の学級からは、拍手の音が聞こえてきました。落選してしまった生徒は残念そうではありましたが、どこか清々しさも感じました。選挙に出ると自分で決めた生徒は、選挙運動を通し、多くのことを学びました。まずは、自分で決めることが大切なのだと思えて感じさせられる場面でした。

(高等部主任 主幹教諭 川中 舞)